

東武動物公園 ニュースリリース

動 30-16 号
平成 30 年 9 月 28 日

さよならヒコボシ！

マレーバクの子ヒコボシお別れイベント

東武動物公園(東武レジャー企画㈱、埼玉県宮代町、社長:日置岳人)では、平成 30 年 10 月 3 日(水)に、マレーバクの子ヒコボシ(雄、6 歳)が、広島市安佐動物公園に旅立ちます。

平成 24 年 8 月 2 日に誕生した、マレーバクの子ヒコボシは、子育て経験がない初産の母親シンディーに代わって、飼育係が大切に育てました。生後 1 カ月頃、飼育係のあとをついていく姿が愛らしかったヒコボシですが、今では立派な雄のマレーバクになりました。

現在ヒコボシは、10 月 3 日のお引越しに向けて、輸送ゲージへ入る練習中です。なお、9 月 30 日には、お別れイベントを開催しますので、旅立つ前にヒコボシに会いに来てくださいね。

広島市安佐動物公園では、今後、ヒコボシのペアとなる雌を導入予定です。ヒコボシの新しい家族の誕生を遠くから見守りたいと思います。

マレーバクヒコボシお別れイベント

【開催日時】平成 30 年 9 月 30 日(日)、10:00~約 20 分間

【内 容】マレーバクの生態とともに、ヒコボシの誕生からこれまでの成長の様子、思い出などをお話します。

(搬出スケジュール予定)

平成 30 年 10 月 3 日(水)

14:30 頃~輸送箱へ収容。クレーン付きのトラックで輸送箱を荷台に乗せ園を出発し、翌日早朝、広島市安佐動物公園に到着予定。

※イベントは当日の天候や動物の体調によって、中止になる場合がございます。搬出は雨天でも実施予定。

搬出個体情報

マレーバク

個 体 名:ヒコボシ

性 別:雄

生年月日:平成 24 年 8 月 2 日生まれ(6 歳)



マレーバクについて

体長 1.8~2.5m 体重 250~540kg 絶滅の危機に瀕している希少種です。森の中で生活するマレーバクは視力が余り良くないため、鼻が発達していて、においや音に対してとても敏感な動物です。泳ぎが得意で、敵に襲われた時などは水の中に飛び込んで逃げます。黒と白の体の色は、月明かりのさす森で、闇夜に隠れながら水草や果実、草、小枝などを食べるための保護色です。生後 6 カ月以内の幼獣には白い縞模様が見られます。

〒345-0831 埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀 110

東武レジャー企画㈱ 業務部 山口・中嶋・前田・白石

TEL 0480-93-1200 Fax 0480-92-2694 HP アドレス <http://www.tobuzoo.com>